

音楽をオールラウンドに生み出す 敏腕サウンドクリエイター



株式会社 masterstroke

〒168-0065
東京都杉並区浜田山 1-33-12 B302
TEL 03-6379-7025 / FAX 03-6379-7025
URL <http://www.master-stroke.jp>

Company data

代表取締役 / Sound Creator

高木 智哉

静岡県浜松市出身。10代の頃より学業の傍らDJとして活動する。19歳で渡ったアメリカ・イギリスで出会ったアーティストに刺激を受け、本格的に音楽制作を開始。音楽制作会社にて5年の経験を積んだのち2007年に独立。2014年に法人化を果たした。



に、アーティストへの楽曲提供、コンサートのPAエンジニア（電気音響設備を用いてPublic Addressを行う技術者）、レコーディングからMIX、マスタリングまで手がけます。ちなみに独立して間もない頃、地元の駅ビルで開かれるバーゲンのCMをプロデュースしたことがあり、堅い職業に就くことを望んでいた両親はそれを見て安心してくれましたね（笑）。

時東 実に多才ですね！まさに音楽プロデュースのスペシャリスト。今後も各方面から引く手あまたになるでしょう。

高木 いえいえ、私は今38歳ですが、活躍できるのは45歳くらいまでだと思っています。というのも、音楽業界は優れた才能を持った若手が次々と出てくるからです。そんな彼らに技術を伝え、才能を伸ばしていくことが、これから私がすべきことだと思っているんですよ。

時東 私も音楽業界に携わる1人として、社長のもとから日本の音楽業界を活性化させる人材が育つのを、今から心待ちにしています。

時東 サウンドクリエイターとしてご活躍中と伺いました。高木社長が音楽に興味を持たれたのはいつ頃でしたか？

高木 14歳のとき、テレビで見たDJに魅せられたのがきっかけですね。それで高校生の頃から地元のクラブハウスなどでDJをするようになり、もっと色々な音楽に触れたいとの思いから19歳でアメリカに留学したんです。表向きには語学留学として（笑）。

時東 なるほど（笑）。アメリカで得たものは大きかったのでは？

高木 ええ、彼らに学んだのは音楽に対する真剣さ。遊びではなく、生活をかけて臨むプロのDJやアーティストの生き様を目の辺りにし、自分も音楽の世界で生きていこうと決めたんですね。

時東 ミュージシャンやアーティストを

目指す若者の多くは志半ばでその世界で生きていくことを諦めてしまいますが、社長の場合はその思いを貫かれたのですね。帰国後はどうされたのですか？

高木 音楽系の専門学校で技術を学びつつ、電子楽器——いわゆるDTM（デスクトップミュージック）での音楽制作を始めました。そして電子音だけでは限界があるため自ら楽器を学び、20代後半から打ち込みと生楽器を織り交ぜた制作スタイルに移行したんです。その頃に音楽制作会社に入って効果音制作・ミキシングなどを学び、2007年に個人事業主として独立。フリーのサウンドクリエイター集団「masterstroke」の代表を務め、2014年に法人化したという流れですね。

時東 すると現在はどうのような活動を？

高木 CMの音楽・効果音制作をメイン



Guest Comment

時東 あみ（タレント）

DTMはもちろんのこと、ギターやベース、ピアノも演奏できるという高木社長。ジャンルにとらわれず、幅広い音づくりが可能とあって、仕事の幅もとても広いと伺いました。経験豊富なサウンドクリエイターとして、これからも様々な音楽を世に送り出してくださいね！

